

サイエンスカフェ

DNAからみる集団と個 ～沖縄、日本、アジアを例として～

場所: ジュンク堂書店那覇店

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志1-19-29 D-NAHA 地下1階～3階

参加費: 無料(申込不要)

2018年3月3日土曜日 15:00～17:00

講師: 木村亮介さん(琉球大学医学研究科准教授)

徳永勝士さん(東京大学医学研究科教授・日本学術会議連携会員)

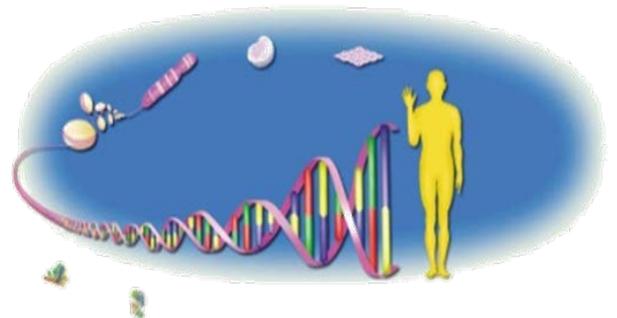
コメンテーター: 太田博樹さん(北里大学医療系研究科准教授)

進行: 竹沢泰子さん(京都大学人文科学研究所教授・日本学術会議連携会員)

DNAにはわたしたちがヒトとして形作られ、健康に存在するための遺伝情報が刻まれています。この遺伝情報は個々人で少しずつ違っており、顔立ちなど見た目の違いや、免疫反応など目に見えない個性の源となっています。他方、人類の移動や進化の歴史によって、集団間で病気の頻度の差が見られる場合があります。

今回のサイエンスカフェでは、見た目の個人差や健康・病気に関わる個人差、それらの集団間での共通性と差異について、それぞれの専門家にお話しいただきます。

個のレベルから、沖縄、日本、さらにアジアといった地理的スケールで見た時、わたしたちの共通性と違いは何なのかについて会場のみなさんと一緒に考えたいと思います。



共催: 日本学術会議 自然人類学分科会

京都大学人文科学研究所 科学研究費基盤研究(S)「人種化のプロセスとメカニズムに関する複合的研究」